

## 令和3年度 第4回理事会の開催

令和3年度 第4回理事会が令和3年9月22日、本会会議室及びインターネットを用いたオンライン出席を併用して開催された。本理事会では、決議事項として、5議案について諮られ、可決された後、説明・報告事項、日本獣医師連盟の活動報告等について、説明、報告が行われた。第4回理事会の議事概要は下記のとおりである。

### 令和3年度 第4回理事会の議事概要

I 日 時：令和3年9月22日(水) 14:00～17:00

II 場 所：日本獣医師会大会議室

III 出席者：（\*はオンラインによる出席者）

【会 長】 藏内勇夫

【副 会 長】 砂原和文\*

村中志朗

境 政人（兼専務理事）

【地区理事】 高橋 徹（北海道地区）\*

浦山良雄（東北地区）\*

鳥海 弘（関東地区）\*

上野弘道（東京地区）\*

石黒利治（中部地区）\*

吉岡 豊（近畿地区）

田中尚秋（中国地区）\*

佐野明彦（四国地区）\*

草場治雄（九州地区）\*

【職域理事】 佐藤れえ子（学術・教育・研究）\*

西川治彦（産業動物臨床）\*

大林清幸（小動物臨床）\*

横尾 彰（家畜共済）

宮澤 隆（家畜防疫・衛生）\*

加地祥文（公衆衛生）

佐伯 潤（動物福祉・愛護）

（欠 席） 栗本まさ子（特任）

【監 事】 宇佐美 晃\*

小山田富弥\*

柴山隆史\*

【顧 問】 酒井健夫

IV 議 事：

【決議事項】

第1号議案 副会長の順序に関する件

第2号議案 役員候補者推薦管理委員会委員の選任に関する件

第3号議案 日本獣医師会会長特別感謝状に関する件

第4号議案 事務局長の選任に関する件

第5号議案 諸規程の改廃に関する件

【説明・報告事項】

1 新型コロナウイルス感染症への対応に関する件

2 2021 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” に関する件

3 獣医学術学会年次大会に関する件

4 獣医学術地区学会に関する件

5 日本獣医師会獣医学術学会誌の電子化に関する件

6 豚熱等家畜伝染病予防対策に関する件

7 マイクロチップ指定登録機関に関する件

8 愛玩動物看護師法の施行に向けた対応に関する件

9 第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会の開催に関する件

10 政策提言活動等に関する件

11 特別委員会及び部会委員会に関する件

12 当面の課題への対応方針（ロードマップの策定）に関する件

13 全国獣医師会会長会議の常設議長及び副議長に関する件

14 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

【その他の報告・連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

V 会議概要：

【開 会】

事務局から定款第41条に規定された定足数を満たし、本理事会が成立することが報告され、開会した。

【会長挨拶】

1 冒頭、藏内会長から大要次の挨拶がなされた。

「令和3年度第4回理事会の冒頭に当たり、ひと言ご挨拶を申し上げる。コロナ禍の中で、本年度第4回の理事会もウェブ併用開催となったが、理事・監事の皆様には、ご多忙の中ご参加いただき、心から感謝を申し上げる。

わが国における新型コロナウイルス感染症は、発生件数の減少傾向が見られるもののいまだ予断を許さない状況にある。政府においては、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除に向けた検討が行われているようである。

ワクチン接種は各地で高齢者を中心に進んでいるが、

接種後の抗体の持続状況や、変異型ウイルスの効果等さまざまな問題がある。冬を迎える中で、再び感染が拡大しないことを願っている。

オリンピック・パラリンピックが終了した。この評価は後世に委ねるとして、私は柔道の78キロ以上女子で金メダルを取った福岡県出身の素根 輝選手に対し、彼女が中学生の頃から支援してきた。優勝の後に私を表敬してくれた際に話をすると、以前に比べ数段成長が感じられ、人間も磨かれ、極めて爽やかな状況を見ることができた。

スポーツとは、たゆまぬ努力とその成果を発揮する大会を経る中で人間を大きく成長させるものだと感激した。選手、関係者の方々からその御苦勞に感謝申し上げたい。

また、自民党総裁選は大変な盛り上がりを見せている。岸田、河野、高市、野田の4候補がしのぎを削っている。私は、政策をよく伺った上で誰に投票するかを決めたいと思っている。実は、今日の午前中、4人の候補者の中の一人である岸田候補からワンヘルスについて意見を聞きたいとオファーがあり、30分ほど直接意見交換をした。

よくご理解いただき、できれば、この4人の候補全員がポストコロナ時代について論議を深めていただければと思っている。

本会は今後とも新型コロナウイルス感染症の拡大防止を第一に考慮し、各種行事等に対応していきたいと考えており、皆様方の御協力、御理解を改めてよろしくお願ひしたい。

このような状況の中、10月2日に予定されていた本年度の動物感謝デーは中止、前日の全国獣医師会会長会議は書面開催とさせていただいた。

また、来年1月に予定されていた令和3年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会は、対面開催を中止してウェブ開催に切り替える予定で準備を進めている。

一方、本日の説明事項のとおり、来年11月には第21回FAVA大会を福岡にて対面で開催することとして、鋭意準備を進めている。全国の会員、地方獣医師会の皆様方には事前登録のお願いをはじめ、格段の御協力をいただきますよう、よろしくお願ひを申し上げます。」

2 定款第40条の規定に基づき、藏内会長が議長に就任し、以下の議事が進められた。

#### 【議決事項】

##### 第1号議案 副会長の順序に関する件

境副会長兼専務理事から、副会長の順序について、砂原和文副会長、村中志朗副会長、境 政人副会長の順とすることが諮られ、異議なく可決された。

##### 第2号議案 役員候補者推薦管理委員会委員の選任に関する件

境副会長兼専務理事から、令和3年10月1日から令和5年の9月30日までの2年間任期とする役員候補者推薦管理委員会委員候補者の選任について諮られ、異議なく可決された。

##### 第3号議案 日本獣医師会会長特別感謝状に関する件

境副会長兼専務理事から、本会監事を連続7期、理事を3期、通算10期20年にわたり本会役員として在任し、令和3年6月30日をもって本会理事を退任した玉井公宏氏に対し、日本獣医師会会長特別感謝状を授与することについて諮られ、異議なく可決された。

##### 第4号議案 事務局長の選任に関する件

境副会長兼専務理事から、令和3年9月末に古賀事務局長が退任することに伴い、駒田事務局次長を新たな事務局長として選任することについて諮られ、異議なく可決された。

##### 第5号議案 諸規程の改廃に関する件

境副会長兼専務理事から、地区学会について地方獣医師会が実施する事業でありながら日本獣医師会が規程を定めている現状を整理し、現実に合わせて対応するため、現在の地区学会運営規程を廃止する一方、地区学会を獣医学術学会賞の地区別予選として位置づけることにより協賛金または委託費として本会が地区学会の開催担当地方会に経費の一部を支出することを明確化するよう学会運営規程の一部改正することについて諮られ、異議なく可決された。

#### 【説明・報告事項】

##### 1 新型コロナウイルス感染症への対応に関する件

境副会長兼専務理事から、令和3年6月から同年8月までの本会の対応経過が説明された。

##### 2 2021 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” に関する件

境副会長兼専務理事から、2021動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” について、環境省及び東京都により同日同会場開催が予定されていた令和3年度動物愛護週間中央行事（屋外行事）が中止されたことを受け、開催が中止され、令和3年8月23日付け3日獣発第142号により地方獣医師会あてに通知されたことが報告された。

##### 3 獣医学術学会年次大会に関する件

境副会長兼専務理事から、令和3年度日本獣医師会獣

医学術学会年次大会の開催形態について、全国的な新型コロナウイルス感染症のまん延状況を鑑み、令和3年7月14日に開催された令和3年度第1回日本獣医師会学会正副会長会議において、対面開催を見送りオンライン配信とする旨提言されたことから、令和3年7月21日に開催された第4回業務運営幹部会において開催形態をオンデマンド配信によるオンライン開催とする旨決定されたことが報告された。地区学会長賞受賞講演を含む全18種類のプログラムを事前収録し、令和4年1月21日から同年2月6日までオンライン配信することが説明された。

令和4年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会については、第21回FAVA大会との連携開催により、令和4年11月11日から13日までヒルトン福岡シーホークで開催予定であることが報告された。

令和5年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会については、令和2年度及び3年度の開催予定地であった神戸国際会議場を含め、早急に検討することが報告された。

#### 4 獣医学術地区学会に関する件

第5号議案で説明された規程の改廃について、本日の決定を踏まえ、令和3年10月1日開催（書面開催）の全国獣医師会会長会議における説明対応を経て、令和4年4月1日施行とすることが説明された。

これに伴い、それぞれの地方獣医師会が独自に地区学会に関する規程を制定する必要があることから、参考となるモデル規程の例が説明された。参加理事から、「示されたものはひな形であり、それぞれの地方獣医師会が自らの団体名を明記して規程を整備すればよいのか」と質問され、「そのとおりであり、新たな規程を定めた上で従来通りのやり方で対応をお願いしたい」旨回答された。

#### 5 日本獣医師会獣医学術学会誌の電子化に関する件

境副会長兼専務理事から、令和4年1月から予定している日本獣医師会雑誌後半部分の獣医学術学会誌のオンラインジャーナル化について、学術論文公開の即時性を高め、オンラインでの閲覧の利便性を向上させる一方、誌面にもタイトル、著者名、要約等を掲載するとともに、容易に当該論文にアクセスできるQRコードを掲載し、紙媒体の読者の利便も確保することが説明された。併せて、会報誌面の充実を図ることが説明された。

#### 6 豚熱等家畜伝染病予防対策に関する件

境副会長兼専務理事から、豚熱（CSF）ワクチンを全ての養豚農場で漏れなく接種されるよう支援する体制の構築に資するため、地方獣医師会に対して依頼した本ワクチン接種の支援対応が可能な獣医師のリストの取りまとめに際し、令和3年6月10日付け3日獣発第79号「豚

熱の予防的ワクチン接種等の防疫措置について（要請）」をもって農林水産省消費・安全局長あてに豚熱、アフリカ豚熱等に対する防疫体制の充実・強化について要請した旨報告された。

一方、日本養豚協会に設置された「豚熱対策検討委員会」において、参加者から農場衛生管理者等への当該ワクチン接種を容認すべき旨の提案がなされ、本会は、当該接種は、現状では獣医師法に違反し、仮に産業動物臨床分野で獣医師以外の者がワクチン接種を可能とすると、小動物臨床等の他業種で同様の問題が発生することや、国家資格化された愛玩動物看護師の診療補助業務との関係等、混乱を招く旨意見を述べたことが報告された。

さらに令和元年6月11日に開催された内閣府の第40回国家戦略特区諮問会議においては、岩盤規制のさらなる推進として、「特区での改革から数年が経ちながら、未だに全国展開に進んでいない早急な対応が必要な事項として獣医学部の新設」が明示されており、ワクチン接種獣医師の不足が表面化すれば獣医学部の新設に拍車がかかることにも十分留意する必要がある旨説明された。

このことから、地方獣医師会に対し、ワクチン接種業務は獣医師に限られた診療行為であり、豚熱ワクチンの予防接種等を効果的かつ円滑に実施する体制を構築することは、獣医師及び獣医師会の責務であることを再認識するとともに、都道府県から知事認定獣医師として支援要請等があった際は、速やかに対応できるよう、「豚熱ワクチン接種支援可能獣医師リスト」の更新、充実に努め、引き続き地域防疫体制の構築に尽力いただきたい旨呼びかけられた。さらに、新たな委員構成による第2回豚熱等家畜伝染病対策検討委員会を速やかに開催し、取組みを進めることが説明された。

#### 7 マイクロチップ指定登録機関に関する件

境副会長兼専務理事から、令和4年6月1日の改正動物愛護管理法の施行に向け、指定登録機関である本会で鋭意準備が進められている状況が説明された。

新たに構築する指定登録機関WEBシステムの開発については、公募申請時に指定している開発業者との間で契約締結が進められていることが報告された。

いわゆるワンストップサービスの実施や、現行のAIPOデータベースの将来的な扱い等対応しなければならない点が多くあり、引き続き環境省及び厚生労働省の指導を仰ぎつつ対応する旨が説明された。

本件について、出席理事から以下の意見が示された。

(1) ワンストップサービスについて、各基礎自治体の中に不安が広がっている。マイクロチップの登録と犬の登録をどのように突合するのか等、現場で対応に悩むことが多い。早急に環境省及び厚生労働省から方向性をお示しいただきたい。

- (2) 法定登録データベースでは獣医師による検索が一切できないのは問題である。現場の獣医師が対応できなければシステムが空回りしかねない。
- (3) 現在の登録手数料は一定の試算に基づいたものであろうが、将来的にペットの数が減少することは避けられない。その時に指定登録機関の運営ができなくなると、必要の都度、登録手数料の見直しがなされるべきである。
- (4) 地方によって、また市町村によって、一斉に対応を開始することは困難である。
- (5) 旧来の登録事業との関係も整理しつつ、早急に地方会向け説明会を開催いただきたい。

これらの意見に対し、境副会長兼専務理事から、地方獣医師会にできるだけご負担をおかけしない方法を検討しつつ、環境省及び厚生労働省と連携しつつ対応したいこと、地方獣医師会との情報共有に努めたいことが回答された。

#### 8 愛玩動物看護師法の施行に向けた対応に関する件

境副会長兼専務理事から、令和4年5月1日に完全施行される愛玩動物看護師法について、業務の範囲、法施行に向けたスケジュール、現任者に対する講習会の一部減免等の対応が説明された。

一般財団法人動物看護師統一認定機構機構長である酒井顧問から、鋭意対応を進めている旨の説明とともに、役所の決定・対応が遅いことについて苦言が呈された。

#### 9 第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会の開催に関する件

境副会長兼専務理事から、令和3年10月16日に開催されるFAVA代表者会議に日本から提出する議案として、①FAVA大会の収支見通しが厳しい場合における上納金支払い規定の新設、②FAVA大会の開催日程が新型コロナウイルス感染症の影響により変則的になったことに伴い、開催国の代表者が大会の開催に合わせて会長を務めることができるよう会長任期に関する臨時措置の実施、③現在バンコクのみで置かれている事務所について、東京にも事務所を設置し、関係国際機関と連携し活動する意向が説明された。また、第21回FAVA大会に向け、参加者及び協賛企業の確保と広報に関する対応状況、開催地である福岡県及び福岡市における準備体制の強化について報告された。

#### 10 政策提言活動等に関する件

境副会長兼専務理事から、①令和3年7月15日付け福岡県知事あて要請「新型コロナウイルス感染症等動物由来の人と動物の共通感染症に対する『ワンヘルス』の実践に関する要請」、②令和3年9月2日付け文部科学

省高等教育局長あて要請「国公立獣医学系大学の地域枠入試に係る要請書」（公益社団法人 中央畜産会と公益社団法人 全国農業共済協会と連名で要請）、③令和3年9月7日付け自由民主党政務調査会副会長あて要請「新型コロナウイルス感染症等動物由来の人と動物の共通感染症に対する『ワンヘルス』の実践に関する要請」が報告された。

#### 11 特別委員会及び部会委員会に関する件

境副会長兼専務理事から、令和3、4年度の特別委員会及び部会委員会の検討テーマと委員構成が報告された。続いてマイクロチップ普及推進検討委員会、総合獣医療・専門獣医療提供体制整備検討委員会について、前期とりまとめの概要等が説明された。

続いて、小動物臨床部会の検討状況について大林理事から、動物福祉・愛護部会の検討状況について佐伯理事から、職域総合部会の検討状況について境副会長兼専務理事からそれぞれ説明された。

#### 12 当面の課題への対応方針（ロードマップの策定）に関する件

境副会長兼専務理事から、当面の重要課題として①FAVA東京事務所の新設と国際関係の活動及び組織体制強化、②薬剤耐性（AMR）対策、③動物愛護管理法におけるマイクロチップの装着・登録の義務化、④認定・専門獣医師制度の確立、⑤愛玩動物看護師法の運用と「かかりつけ病院」による地域包括ケアシステムの確立について、対応方針が説明された。

#### 13 全国獣医師会会長会議の常設議長及び副議長に関する件

境副会長兼専務理事から、令和3年10月1日開催（書面開催）予定の全国獣医師会会長会議において、本会蔵内会長が常設議長に埼玉県獣医師会高橋三男会長、常設副議長に和歌山県獣医師会玉井公宏会長をそれぞれ任命することが報告された。

#### 14 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

各地区理事から職務執行状況が報告された。

#### 【連絡事項】

##### 1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

境副会長兼専務理事から、当面の関係会議等の開催日程について説明がなされた。

##### 2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

境連盟委員長代行兼会計責任者から、①7月15日に福岡県の服部知事あてにワンヘルスの実践に関する要

請を行ったこと、②来年の参議院議員選挙においては、8月31日に自見はなこ参議院議員を日本獣医師連盟として推薦することとして推薦状を贈呈したこと、③9月3日に衆議院議員選挙の対応について地方獣医師連盟あてに通知したこと、④9月7日に自由民主党政務調査会 大家敏志副会長あてに要請を行ったことが報告された。

#### 【閉 会】

藏内会長からすべての議案が終了した旨報告され、円滑な議事進行への協力にお礼が述べられた後、事務局から閉会が告げられた。